

# TSセット乾太くん用 施工説明書

必ずお客様にお渡しください

※TSセット(乾太くん用)を施工またはご使用の際は、この施工説明書と合わせて「施工説明書」「取扱説明書」もよくお読みいただき、正しく施工・ご使用ください。

## 警告

●絶対に耐荷重以上の荷物は載せないでください。破損や落下の原因となります。また乾太くん以外は載せないでください。

耐荷重(1セットあたり)

TS(木棚)セット 乾太くん用	60kg
-----------------	------

※耐荷重の数値は目安であり保証値ではありません。  
※耐荷重の範囲内で壁とスリットの間に隙間が生じる場合がありますが、製品上問題はありません。

●絶対に本製品にのぼったり、ぶら下がったりしないでください。破損や落下、転倒によりケガをするおそれがあり非常に危険です。

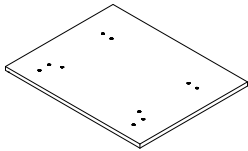
●高所の作業を行うときは、必ず脚立や椅子などを使用し、絶対に本製品に足をかけたりしないでください。破損や落下、転倒によりケガをするおそれがあり非常に危険です。

●絶対に本製品に寄りかかったり、手をついたりしないでください。破損や落下によりケガをするおそれがあり非常に危険です。



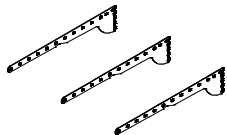
## 棚板組立用部品

TSセット(乾太くん用)の組立に必要な部品は以下の通りです。不足がないかご確認ください。



W750\*D600 棚板(穴加工有) 1枚

貫通穴のみ見える面を「表側」、  
鬼目ナットが設置されている面を「裏側」と表記。



ブラケット(腕木) 3枚



棚受け+ねじ  
6セット



落下防止ストッパー  
2個



乾太くん取付け用ビス  
(M5×50)※ 4本



乾太くん取付け用ビス  
(M5×30)※ 4本



ワッシャー  
4枚

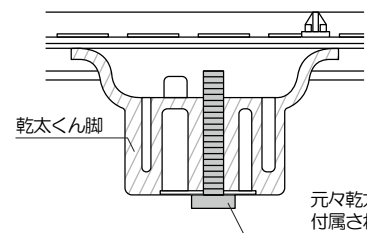


穴隠し  
12個

※設置する乾太くんのタイプによって使用するビスが異なります。

## 施工前に必ず行ってください

乾太くんに元々付属されているビスを4カ所ある脚に手回しドライバーで奥まで取付け、その後取り外してください。  
(内部の板金穴にねじをきるため)



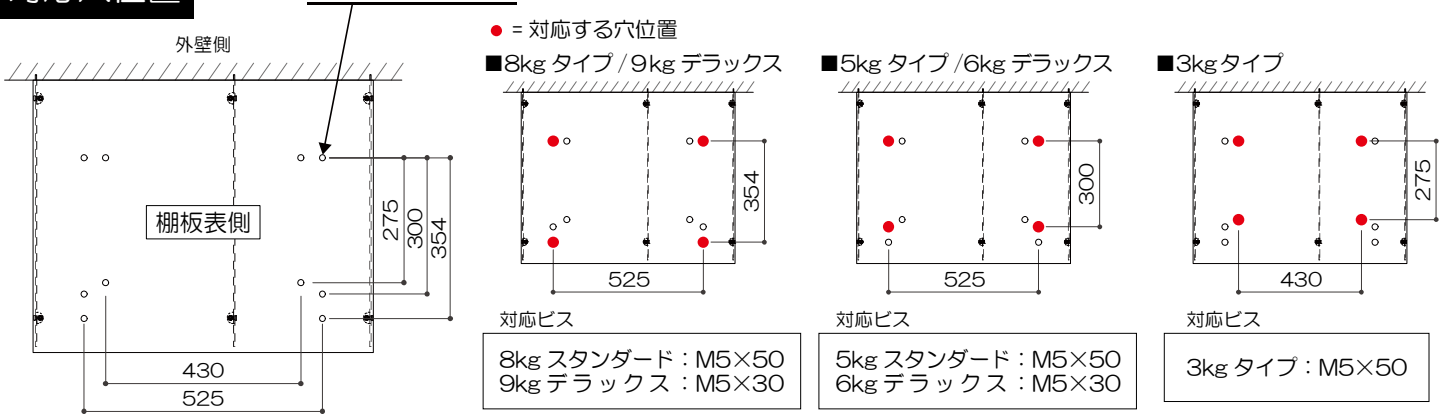
乾太くん脚  
元々乾太くんに付属されているビス

### 注意

上記を行わない場合は、ねじ穴が変形し空回りするおそれがあります

## 対応穴位置

棚板には計10カ所の貫通穴が空いています。下記から各乾太くんシリーズに対応する穴位置をご確認ください。



※業務用「乾太くん」の脚部固定ビス位置は8kg/9kgは家庭用8kg、5kg/6kgは家庭用5kgと同じです。

## 棚板の組み立て・取り付け

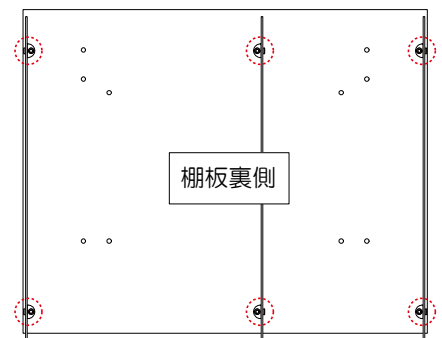
裏面の「FKレール・FKスリットの取り付け」からご確認ください。

- 別紙「施工説明書」の3「TS/TPセットの組み立て・取付け」を参考に棚板の組み立て、取り付けを行ってください。ブラケットを棚板に取り付ける際は右図を参考に中央ブラケットの棚受け方向に注意して、取り付けてください。
- 本面の**対応穴位置**を確認し、使用しない穴を上下から同梱の穴隠しでふさいでください。
- 棚板に乾太くんを載せ、乾太くんの脚と穴位置を合わせて、ワッシャーと取付けビスで乾太くんを固定してください。



- 組立て・取り付け完了後、同梱の耐荷重ラベルを目立つ位置に貼ってください。

棚受の取付け  
方向に注意。



### 注意

TSセット(乾太くん用)は乾太くんにガス管を取付けるので棚の移動ができません。  
必ず棚位置が間違いないかご確認ください。

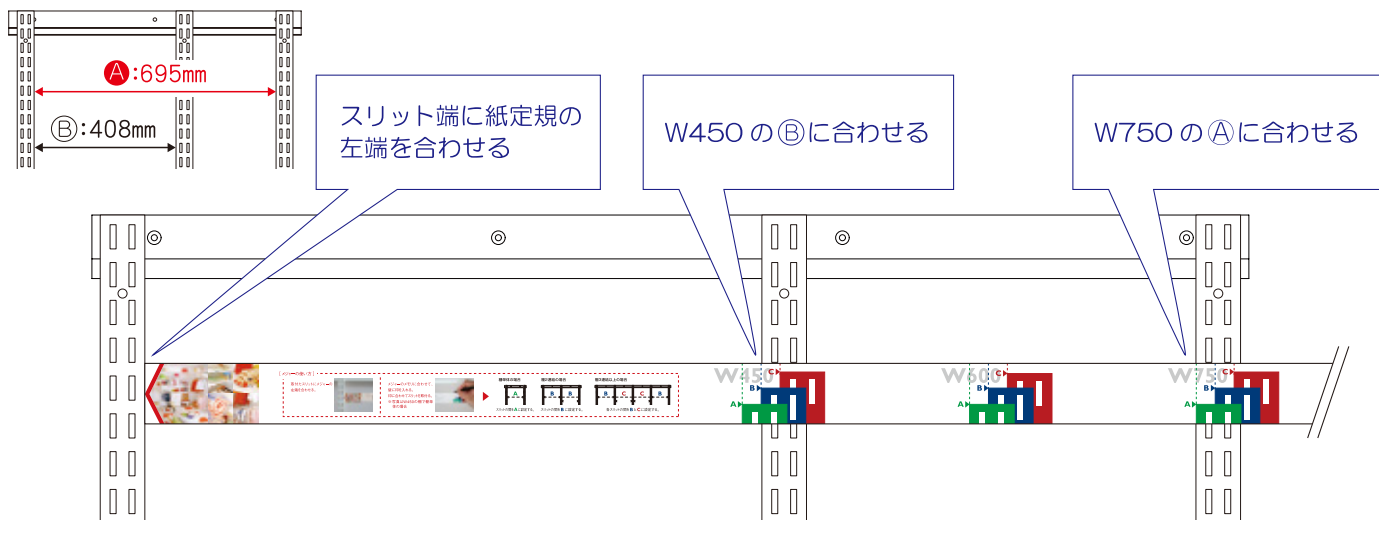
# FKレール・FKスリットの取り付け

別紙「施工説明書」の **1 FKレールの取り付け** と **2 FKスリットの取り付け** を参考に取り付けてください。  
スリットの位置は下図を確認してください。赤文字部分が乾太くん用の取り付け位置です。またレール・スリットには紙定規が付属しております。下部にある図の (A)(B)(C) と連動していますので紙定規をあてて、取り付け位置を確認してください。

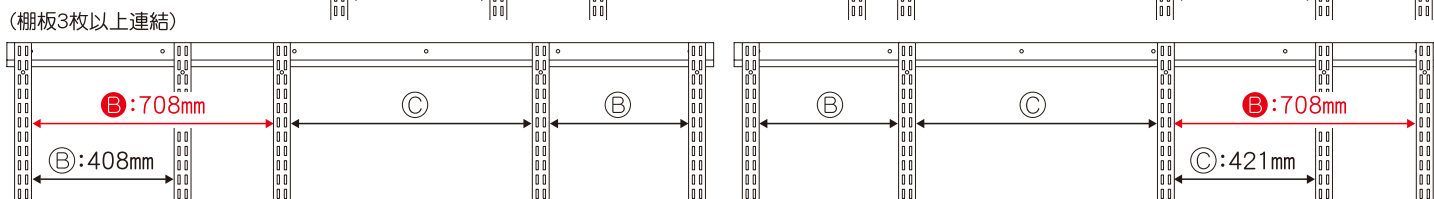
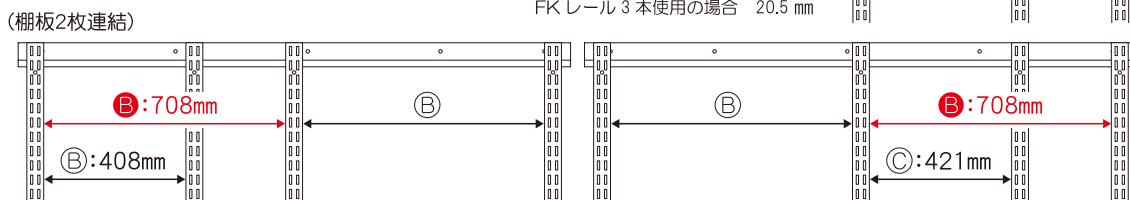
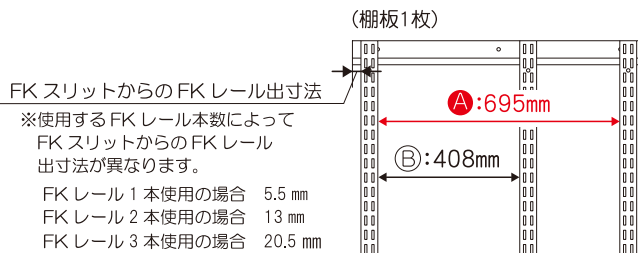
## ■ 紙定規



### 紙定規使用例（1列の場合）



乾太くん専用台  
取付動画



### (FKスリットの取り付け位置)

棚板/パイプの幅によって異なります。  
以下寸法公式で寸法を算出して取り付けてください。

- (A) = 設置する棚板/パイプ 幅 - 55mm
- (B) = 設置する棚板/パイプ 幅 - 42mm
- (C) = 設置する棚板/パイプ 幅 - 29mm

＜例＞W450の棚板の場合

(A): 395mm (B): 408mm (C): 421mm

＜例＞W600の棚板の場合

(A): 545mm (B): 558mm (C): 571mm

＜例＞W750の棚板の場合

(A): 695mm (B): 708mm (C): 721mm

＜例＞W900の棚板の場合

(A): 845mm (B): 858mm (C): 871mm

## 注意

TSセット(乾太くん用)の真ん中のブラケットはスリット左側の穴を使用します。

